

| 教科名 | 国語 | 科目名 | 国語総合 | 履修単位数 | 4単位 | 履修年次 | 1～4年次 |
|-------|-------------------------|-----|------|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 一斉授業 | | | | | | |
| 履修条件 | 特になし | | | | | | |
| 使用教科書 | 改訂版『高等学校 標準国語総合』（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 『常用漢字の基礎完全マスター』（東京書店） | | | | | | |
| 授業担当者 | 教諭 池 義治 | | | | | | |

1 学習目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 指導のねらい

- ① 高校生としての自覚に立ち、自己を見つめ思索する態度を養う。
- ② 言葉についての認識を深め、日常の言葉を大切にする心を養う。
- ③ 古典とはどういうものかについて考え、古典を読む意義を学ぶ。

3 指導計画（140時間）（50分授業）

▼前期〔68時間〕

〔現代文分野〕

- ① 評論『世界は謎に満ちている』（8）
- ② 小説『羅生門』（9）
- ③ 評論『水の東西』（7）
- ④ 詩『道程・二十億光年の孤独』（9）

〔古典分野〕

- ① 「古文の学習」（3）
- ② 「児のそら寝」（5）
- ③ 「絵仏師良秀」（5）
- ④ 漢文の学習（3）
- ⑤ 訓読に親しむ（7）
- ⑥ 漁夫之利（5）
- ⑦ 先従隗始（5）

※定期テストと答案返却（2）

▼後期〔72時間〕

〔現代文分野〕

- ⑤ 評論『コミュニケーションは創造的に』（10）
- ⑥ 小説『出来事』（8）
- ⑦ 小説『よるこびの歌』（7）
- ⑧ 短歌と俳句『清水へ・手毬唄』（10）

〔古典分野〕

- ⑧ 「つれづれなるままに」（5）
- ⑨ 「筒井筒」（7）
- ⑩ 「門出」（7）
- ⑪ 唐詩の鑑賞（10）
- ⑫ 「鶏口牛後」（6）

※定期テストと答案返却（2）

| | | | | | |
|-----|----|-----|------|--------|------|
| 教科名 | 国語 | 科目名 | 国語総合 | 授業担当者名 | 池 義治 |
|-----|----|-----|------|--------|------|

4 課題・提出物等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ノート・ファイルの提出 ・長期休業中の課題 等 |
|---|

5 主な評価の方法

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組（授業態度、学習活動への参加意欲・態度、授業中の発言等） ・ノート・ファイル等の提出物 ・小テスト・定期考査 |
|---|

6 評価の観点

| | |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 |
| 話す・聞く能力 | 目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 |
| 書く能力 | 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 |
| 読む能力 | 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 |
| 知識・理解 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 |